

# 意見報告書

平成 20 年 10 月 16 日

苫小牧市地球温暖化対策市民検討会

## <第1章 計画策定の背景>

資料編に掲載されている「市域の概況」は本編に持ってきて、本市の特色を示すようにしてください。

## <第2章 計画の基本的事項の整理>

意見はありません。

## <第3章 温室効果ガスの排出量の現状と将来予測>

- 1 将来推計の根拠となった2017年度の世帯数及び業務系建物床面積の将来予測値を本編に示してください。
- 2 18ページの製造品出荷額の記述には、石油・石炭製品を除外していることを明記してください。

## <第4章 温室効果ガス排出量の削減目標>

- 1 植樹によるCO<sub>2</sub>吸収量を、小さな数字であっても削減目標の目安に示してください。
- 2 原単位で目標を設定したものについては、総量の変化もわかるよう表現してください。
- 3 削減目標は、基準年との比較だけではなく、直近又は将来予測との比較を併記するなど、インパクトを高めてください。

## <第5章 目標達成に向けた対策>

- 1 市民・事業者求められる取組に、CO<sub>2</sub>削減効果の大きい「LED照明への転換」を盛り込んでください。
- 2 事業者求められる取組は、より削減効果の大きい「製品開発」を先に掲載し、「省エネの取組」は後に掲載してください。
- 3 市の施策に、環境に取り組む優秀な企業等の表彰制度を盛り込んでください。
- 4 緑化の指標を、緑地の確保目標水準ではなく、植樹本数などわかりやすいものにしてください。

- 5 市民に対する努力目標「1人1日1.5kg削減」と同様に、事業者に対する努力目標についても何らかの形で掲げてください。
- 6 市の施策の「ワンコインバス」や「エコドライブ」について、これまで以上に市民への周知が求められることから、重点対策としてください。
- 7 自動車対策として、クリーンディーゼル車やLPG自動車の普及を盛り込んでください。

#### <第6章 計画の推進>

- 1 市民への進捗状況等の情報提供にあたっては、インターネット環境にない市民にも配慮し、より多くの提供場所・手段を考慮してください。
- 2 毎年実施されるPDCAサイクルを誰が実施するのか記述してください。

#### <資料編>

意見はありません。

#### <その他>

計画書表紙のタイトル及び29ページの体系図キャッチコピーを、  
「<sup>とまこまい</sup>053発！みんなでとめよう温暖化」としてください。

(参考)

### 市民検討会開催経緯

第1回	平成20年8月11日(月) 18:30~20:10 議題 ・委嘱状交付 ・会長、副会長選出 ・計画のスケジュール説明 ・素案概要説明(第1章~第2章) ・意見交換
第2回	平成20年8月26日(火) 18:30~20:30 議題 ・素案概要版説明 ・素案説明(第3章~第4章) ・意見交換
第3回	平成20年9月8日(月) 18:30~20:30 議題 ・素案説明(第5章) ・意見交換
第4回	平成20年9月24日(水) 18:30~20:30 議題 ・素案説明(第6章~資料編) ・意見交換
第5回	平成20年10月15日(水) 18:30~19:30 議題 ・意見報告書作成

市民検討会委員名簿

氏名	区分	勤務先・所属団体等
大井 正美	公募	
奥村 博幸	公募	
佐藤 千恵子	公募	
杉浦 佳子	公募	
畑中 稔	公募	
原田 敬晶	公募	
○西川 辰美	公募	
伊藤 智之	事業者	イオン北海道(株)ジャスコ苫小牧店
中出 海	事業者	(株)イワクラ
中西 玄一	事業者	トヨタ自動車北海道(株)
有沢 昭	団体	NPO 北海道水環境を考える会
藤田 健次郎	団体	(社)苫小牧青年会議所
山内 幸子	団体	苫小牧消費者協会
植木 忠夫	学識経験者	苫小牧市小学校長会
◎吉田 隆輝	学識経験者	苫小牧工業高等専門学校

※氏名欄の◎は会長、○は副会長